

質問順位	9	質問者	三上裕久議員		
件名		項目	要旨	メモ	
1. 市長の基本姿勢	1. 奨学金返還支援について	1. 学生の約半数が在学中に奨学金制度を活用していたとの調査結果がある。そのような若者が本市で就職・居住することを条件に市が返還支援を行う新たな制度の創設や国が行う奨学金返還支援（代理返還）制度を市内企業がうまく活用すれば、若者の人材確保と定住が促進できるのではないかと考える。市としての取り組みについて見解を伺う。			
	2. 地域医療構想モデル推進区域の中空知圏域の設定について	1. 都道府県が設置するモデル推進区域の調整会議は、どのような構成メンバーで行われ、また、具体的な推進主体はどこが担うことになるのかについて伺う。			
		2. モデル推進区域には、国からの技術的支援と財政的支援が盛り込まれており、そのうちの財政的支援では、医療機関の再編統合をする場合、上乘せの財政支援を行うとされている。2040年頃を見据え、中空知の自治体病院再編統合の議論形成を図るための最大で最後の機会になると考えるが、市長の見解を伺う。			
	3. 地域おこし協力隊について	1. 3年間の活動を終えて、地元定住を図ることを目的にこの制度が創設されたと認識しているが、地元定住はあまり進んでいないと考える。これまでの状況と定住に至らない要因として何が考えられるのかを伺う。			

質問順位	9	質問者	三上裕久議員		
件名	項目	要旨		メモ	
		2. スポーツ振興と部活動の地域移行における人材確保を目的に、地域おこし協力隊制度を活用して募集をすべきと思うが、市の見解を伺う。			
2. 保健福祉行政	1. 妊産婦のためのタクシー利用券の配付について	1. 陣痛時・出産時の入退院の際、無料でタクシーを利用できるタクシー利用券の配付についての市の見解を伺う。			
	2. 带状疱疹予防接種の公費助成制度の導入について	1. 80歳までに3人に1人が発症するといわれる带状疱疹については、本市では、50歳以上の市民が約21,000人おり、発症患者数は約7,000人いると推計される。昨年の第3回定例会の質問では、50歳以上を対象にすべきとの主旨であったが、50歳から64歳の現役世代（約7,800人）を半額助成の対象とすることへの市の見解を伺う。			
	3. RSウイルス感染症予防ワクチン接種の公費助成制度導入について	1. RSウイルスは、発熱や咳などの症状が出る呼吸器の感染症で、2歳までにほぼ全員がかかる。高齢者が感染すると、肺炎など重症化するリスクが高い。本市における年間予想感染者数は約630人で、接種費用は医療機関にもよるが約2万5千円が見込まれる。この一部助成に対する市の見解について伺う。			